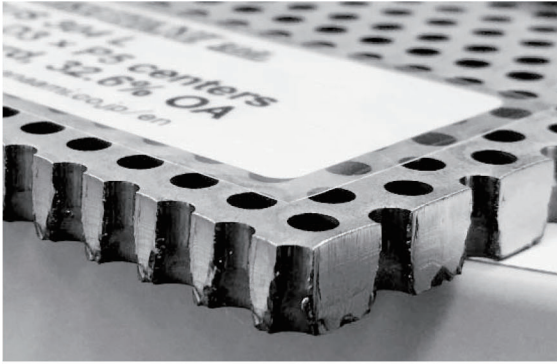


# 金属穴直径板厚の1/2

## 奥谷金網 プレス加工新技術



【神戸】奥谷金網製 奥谷勝彦社長、078 作所（神戸市中央区、  
・351・2531）

は、板厚の半分の直径サイズで金属に穴あげができるプレス加工技術を開発した。従来は板厚の7割までが同社の限界.....  
板厚6ミリ、直径3ミリの穴をあけたサンプル

だったが、金型の強度向上や加工法の見直しなどで実現した。同加工技術の応用で同じ穴径なら板厚を増やせ、フィルターなどに使うパンチングメタル（打抜金網）製品の耐久性や寿命の向上が期待できるといふ。

既存のパンチングプレス機を使い、板厚6ミリで500ミリの角のステンレス板に直径3ミリの穴を5ミリピッチで1万1100個あける試作に成功した。板厚3ミリでも、直径1・5ミリの穴を3ミリピッチで100ミリの角サイズであげた。

今後3年内には、応用範囲が広がる1ミリのサイズのステンレス板での実用化を目指す。同社は2009年にパンチングメタル製品で板厚より小さい直径の穴をあける加工技術「スーパーパンチング」を開発し、同技術の改良を進めている。